

2017年度電子情報通信学会 フェロー称号受贈

R&Dイノベーション本部長の中村 寛は、2018年3月22日に開催された電子情報通信学会のフェロー贈呈式において同学会よりフェローの称号を贈呈されました。本称号は電子情報通信学会への貢献が大きく、かつ学問・技術または関連する事業に関して功績が認められた者に対して贈呈されるものです。2017年度は29名がフェローの称号を贈呈されました。

本贈呈は、「第3・第4世代携帯電話及びVoLTEシステムの研究開発と標準化の推進」の貢献が認められたものです。中村は入社以来、一貫して移动通信分野の研究開発に従事し、近年においては、その卓越した技術力・指導力により、第3世代から第4世代に至る移动通信システムおよびLTEネットワークにおける音声通信システム「VoLTE (Voice over LTE)」の研究開発および国際標準化、並びに実用化を成し遂げてきました。

具体的には、第3世代移动通信システムの実現に向け、1つの移動端末が世界中どこでも使用できる世界標準に準拠した新しい移动通信方式とすべく、第2世代移动通信システムのGSM (Global System for Mobile Communications)/GPRS (General Packet Radio Service) のコアネットワークをベースとして、そこに第3世代移动通信システムの国際標準化された機能を追加すること、およびIMT-2000 (International Mobile Telecommunications-2000) の基盤技術として適用されているAAL2 (ATM*1 Adaptation Layer type 2)*2の標準化を推進することでIMT-2000を完成させるに至りました。

また、第4世代移动通信システムの実現に向けては、第3世代移动通信システムのさらなる能力向上と第4世代移动通信システムへの円滑な移行を狙っ

たSuper3Gコンセプト (第3.9世代移动通信システム) を打ち出し、特に新たなコアネットワーク規格であるSAE (System Architecture Evolution)*3の設計、標準化に向けた技術規格の提案、移动通信用コアネットワーク装置の開発・実用化を推進し、LTEを完成させるに至りました。

さらには、LTEネットワークにおける音声通信システム (VoLTE) の実現に向けて、業界標準仕様の策定活動にて日本市場の要求条件の入力を成功させるとともに、スマートフォン、無線アクセスネットワーク、コアネットワークすべての開発にかかわる大規模開発プロジェクトを統括して、VoLTEを完成させるに至りました。

これらの研究開発と標準化、並びに実用化を通じて多くの世界トップレベルの技術的成果を上げ、移动通信分野、電子情報通信分野の発展への極めて大きな貢献が今回の贈呈に繋がりました。

-
- *1 ATM: Asynchronous Transfer Modeの略。セルと呼ばれる固定長のフレームを逐次転送する通信方式。
 - *2 AAL2: ATMレイヤと自身の上位層とを適合させるアダプテーション層のタイプの1つ。
 - *3 SAE: 3GPPにおけるevolved GSMコアネットワークの発展系列の作業名称。E-UTRANの収容を対象とし、さらにすべてのサービスをIP上で実現することを前提としている。SAEにて検討された仕様はEPCと呼ばれる。

